

令和7年度

学校要覧

東大和市立第四中学校

人権宣言

前文

私たち東大和市立第四中学校の生徒全員は、
「育てよう ポプラのように 四中を」を目標にして
「あいさつができる四中生」の伝統を引き継ぎながら、
誰もが素敵な笑顔で学校生活を送ることができるように
次の人権宣言を定めます。

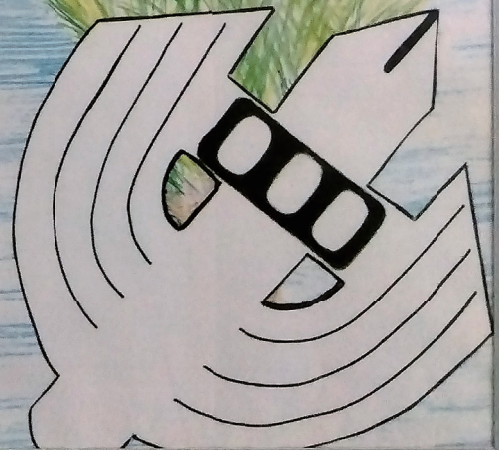
第1条 自分を大切にするとともに、
友達がいることの幸せに感謝します。

第2条 私たちは他の人の大切さを認め、
気持ちのよい言動を心がけます。

第3条 互いに尊重し協力し合うことで、
笑顔あふれる四中にします。

第4条 だれもがもっている夢を尊重し合い、
その実現に努力します。

第5条 ポプラのように、のびのびとした
学校生活を送ります。



《東大和市》

- 東大和市の教育に関する大綱
- 東大和市教育委員会の教育目標
- 第三次東大和市学校教育振興基本計画

《教育目標》

- 自ら考え、学び続ける生徒
- 豊かな心を持ち、自他を尊重する生徒
- 健康で、たくましく生きる生徒

《東大和市教育委員会主要施策》

- 確かな学力（学力向上、読書教育 等）
- 豊かな人間性（人権教育、健全育成）
- 健康・体力（健康教育、体力の向上）

協働 目指す地域像

- 学校と目標・ビジョンを共有する地域
- 目標に向かって協働する地域
- 生徒の社会性を育む地域

活力 地域として望む生徒像

- 夢や希望をもつ生徒
- 挨拶ができる生徒
- 笑顔の生徒

魅力 学校として目指す生徒像

- 考えを深める生徒
- 広い心をもつ生徒
- 自分を大切にする生徒

コミュニティ・スクールの更なる推進

Waku Waku Community School

地域の学識者（保育園長、都立高等学校長、大学職員）を新たに招き、就学前から義務教育後の視点も踏まえて本校の教育活動の取組みを絶え間なく改善します。

保護者からの信頼

学校の情報の「見える化」

学級や学年、学校の情報を分かりやすく可視化し、紙媒体に頼らずに電子メールや1人1台端末を活用して保護者への説明責任を果たすことを通して学校のビジョンを共有します。

地域社会で育むキャリア形成

TOKYO GLOBAL GATEWAY GREEN SPRINGS

小学校での TGG（立川）による英語の体験学習を中学校でのオンライン英会話を生かして 3 学年で追体験することを通して小・中学校のキャリア教育をつなぎ、望ましい進路選択に活かします。

地域人材の活用

四中インターン

教員を志す大学生を「四中インターン」として通年で本校へ招き、困り感のある生徒を支援するとともに放課後の補習や学習支援を行い、誰一人取り残さずに生徒の可能性を引き出します。

四中人権宣言の実現



東大和市立第四中学校 人 権 宣 言

前 文

私たち東大和市立第四中学校の生徒全員は、「育てよう ポプラのように 四中を」を目標にして「あいさつができる四中生」の伝統を引き継ぎながら、誰もが素敵な笑顔で学校生活を送ることができるように次の人権宣言を定めます。

- 第 1 条 自分を大切にするとともに、
友達がいることの幸せに、感謝します。
- 第 2 条 私たちは他の人の大切さを認め、
気持ちのよい言動を心がけます。
- 第 3 条 互いに尊重し協力しあうことで、
笑顔あふれる四中にします。
- 第 4 条 だれもがもっている夢を尊重し合い、
その実現に努力します。
- 第 5 条 ポプラのように、のびのびとした
学校生活を送ります。

ウェルビーイングの実現

四中人権宣言 第5条 の実現

生徒会が中心となって全校生徒で規則の根拠や社会規範とのかかわりを考え、生徒自身が生活のルールを考えることによって、のびのびとした学校生活を実現します。

ポプラ・タイムを軸にした学びの充実

個別最適な学び・協働的な学びの充実

教員はポプラ・タイム（総合的な学習の時間）を軸にして全教科等で1人1台端末を用いたグループ学習を行い、生徒相互が対話の中でひらめきやつばやきを引き出せる授業を実践します。

ジェンダー平等

生徒の自己実現

各教科や特別の教科 道徳、特別活動等の学習の中で社会的・文化的に作られた性別（ジェンダー）を問い直し、生徒一人一人の男女平等に関する意識を高めて進路の実現を図ります。

当事者意識のある生徒

学校行事への主体的な参加

運動会や修学旅行、移動教室、校外学習等の学校行事の企画に生徒を積極的に参加させ、教員は生徒の活動を支えることを通して、生徒の主体性を育みます。

ライフ・ワーク・バランスを徹底（育児・介護等の事情を踏まえて教職員の生活・仕事の両立を目指した質の高い教育）します。

- 月当たりの時間外勤務が 45 時間を超える教職員を 0 人にします。
- 「19 時 30 分までの全教職員完全退勤」を実現します。
- マイ定時退勤日を設置し、週 1 回以上の定時退勤を実現します。
- Anniversary 休暇を導入し、年 4 回の記念日等を自主的に設定します。
- 全教職員の年次有給休暇の取得率を 80%以上にします。
- 教職員は従前までの慣例にとらわれずに、各自の仕事量を削減します。

教職員一覧

令和7年5月1日現在

職 名	氏 名	教 科 等
校 長	立 川 裕	経 営
副校長	成 田 啓 和	経 営
主幹教諭	矢 野 博 道	理 科
主幹教諭	菊 地 祐 太	社 会
指導教諭	結 城 圭 絵	国 語
主任教諭	望 月 伸 一	国 語
主任教諭	相 澤 祥 隆	数 学
主任教諭	中 村 俊 貴	外国語
主任教諭	関 谷 進	理 科
主任教諭	谷 川 研 嗣	外国語
主任教諭	藤 井 崇	数 学
主任教諭	小 山 玲 子	音 楽
主任教諭	綾 塚 奈麻子	家 庭
主任教諭	大 鹿 明希子	社 会
主任教諭	大 嶋 武 博	数 学
主任教諭	玄 應 桃 子	外国語
教 諭	榊 にいな	外国語
教 諭	福 嶋 孝 之	数 学
教 諭	稲 葉 康 恵	美 術
教 諭	駒 井 香 奈	保健体育
教 諭	小 淵 一 樹	技 術
教 諭	岩 田 明 子	社 会
教 諭	大田和 拓 哉	国 語
教 諭	眞 木 菜々佳	保健体育
教 諭	一ノ瀬 淳	保健体育
教 諭	岡 田 さくら	理 科
教 諭	佐 藤 響	国 語
養護教諭	出 田 悠	養 護
スクールカウンセラー	石 垣 真理子	都ＳＣ
スクールカウンセラー	吉 川 なぎさ	市ＳＣ
事 務	遠 藤 優美子	都事務
事 務	内 野 直 美	市事務
用 務	藤 野 吉 郎	用 務
副校長補佐	峯 尾 由 美	校 務
図書館指導員	六 馬 眞由美	学校図書
非常勤講師	掛 川 明 子	外国語
非常勤講師	長 由美子	外国語
非常勤講師	長谷川 貴 則	社 会
非常勤講師	北 村 太 基	社 会
非常勤講師	服 部 智 則	理 科
非常勤講師	星 野 歩	理 科
非常勤講師	井 口 恵	理 科
非常勤講師	下 田 留美子	国 語
ティームティーチャー	関 沢 潔	数 学
ティームティーチャー	高 橋 弥 生	英 語
スクールサポートスタッフ	近 江 賢 二	校 務
校内サポートルーム	雨 宮 敏 彦	校内サポートルーム
ステップ教室専門員	真 柄 あおい	特別支援教室
不登校対応巡回教員	中 橋 文	校内サポートルーム
ステップ教室教員	水 野 悠 人	特別支援教室
ステップ教室教員	江 坂 祥 太	特別支援教室
ステップ教室教員	渡 部 智 貴	特別支援教室
巡回心理士	原 徹 子	特別支援教室
配膳員	川 井 裕 子	配膳室
配膳員	北 川 仁 子	配膳室
介助員	山 崎 剛	授業補助
介助員	島 村 和 子	授業補助
介助員	清 水 初 江	授業補助
介助員	上 本 八重子	授業補助
介助員	川 上 智 子	授業補助
介助員	谷 口 清 美	授業補助
施設管理員	村 瀬 達 海	管 理
施設管理員	飯 束 信 雄	管 理
施設管理員	牧 野 龍 夫	管 理

Waku Waku Community School 委員

役 職 等	お名前(敬称略・五十音順)
四中PTA会長	石 井 早 紀
四っちゃん会代表	山 田 陽
明德保育園	豊 田 誠
都立東大和高校校長	加 藤 武
八地区青少対役員	石 坂 緑
十地区青少対役員	海老原 ま や
は～とふるセンター長	井 上 千 秋
主任児童委員	檜 山 美智子
民生児童委員	木 下 浩 代

生徒数

令和7年5月1日現在

学年	男	女	計
1	108	80	188
2	98	97	195
3	103	80	183
計	309	257	566

部活動一覧

	部活名	顧問
運動部	男子バスケットボール部	菊地 祐太・大鹿 明希子・大田和 拓哉
	女子バスケットボール部	大田和 拓哉・大鹿 明希子・菊地 祐太
	女子バレーボール部	谷川 研嗣・相澤 祥隆・福嶋 孝之
	野球部	大嶋 武博・福嶋 孝之・眞木 菜々佳
	サッカー部	一ノ瀬 淳・玄應 桃子
	卓球部	望月 伸一・関谷 進
	バドミントン部	中村 俊貴・小淵 一樹
	陸上競技部	藤井 崇・榊 にいな
	女子ソフトボール部	眞木 菜々佳・佐藤 響・大嶋 武博
文化部	吹奏楽部	岡田 さくら・小山 玲子・矢野 博道
	情報科学部	矢野 博道・出田 悠
	園芸部	矢野 博道・出田 悠
	家庭科部	綾塚 奈麻子・稲葉 康恵
	美術部	稲葉 康恵・綾塚 奈麻子
	手話部	岩田 明子・佐藤 響

学校所在地

〒207-0021 東京都東大和市立野 2-6-2

TEL : 042-564-8511 FAX : 042-590-7031

E-mail : hy-4c002@city.higashiyamato.ed.jp

アクセス

